

共に

塩尻市生涯学習部男女共同参画・人権課

塩尻市大門七番町4番3号
TEL：(0263) 52-0280 内線3151
FAX：(0263) 54-2705
Eメールアドレス：kyoudou@po.city.shiojiri.nagano.jp

地域で活躍する女性リーダー



7/23 (土) 第三次塩尻市男女共同参画基本計画策定記念講演会
「若者たちの非正規雇用と男女共同参画のこれから」
講師 藤瀬 恭子さん



男女共同参画

内閣府男女共同参画局では、男女共同参画のシンボルマークを作成しました。
このシンボルマークは、男女が手を取り合っている様子をモチーフにし、互いに
尊重しあい、共に歩んでいけたらという願いを込めています。

地域で活躍する女性リーダー



今回は、各地域で長年リーダーとして活躍されているお二人の女性にインタビューをしました。公民館長や人権教育指導員を務められた山下美津子さんに過去の経験談を、また、しおじり女性会議代表や人権擁護委員を務められている宮崎小里さんに現在の活動についてのお話をお聞きしました。



山下 美津子さん（大門七区社協分館長）
（元大門公民館長、元市人権教育指導員【H11から4期8年】）

- Q. 女性で20年余り地区の役員から大門公民館長まで務められたことは、現在とは違ったご苦労があったと思います。
- A. 20年前は女性の役員は少なく、分館長に推された時は、無言電話や無記名の手紙の嫌がらせが何度も来て悩みましたが、自分の目指す公民館活動実現のために努力しました。
若い人に入ってもらう意見を聞き、年輩の人と一緒に行動してもらいました。分館活動も活発になり、地区の人にも理解されるようになり、行事やサークル活動に参加する人も増えました。
それから、私は飲めないのですが、懇親会などにも努めて参加し、意見を聞きました。
- Q. 家庭と地域の役員を両立し、続けられた一番大きな要因は何ですか。
- A. 一番は、主人が理解し協力してくれたことです。
両親を看病しながら、地区の役員を続けることができました。
- Q. 今、活躍している女性リーダーへのアドバイスをお願いします。
- A. 今まで苦労してきた地区の功労者と若い人たちとの橋渡しができたらいいですね。
気軽に集える公民館は、地区の一体感を作っていくのにとても役立つと思います。

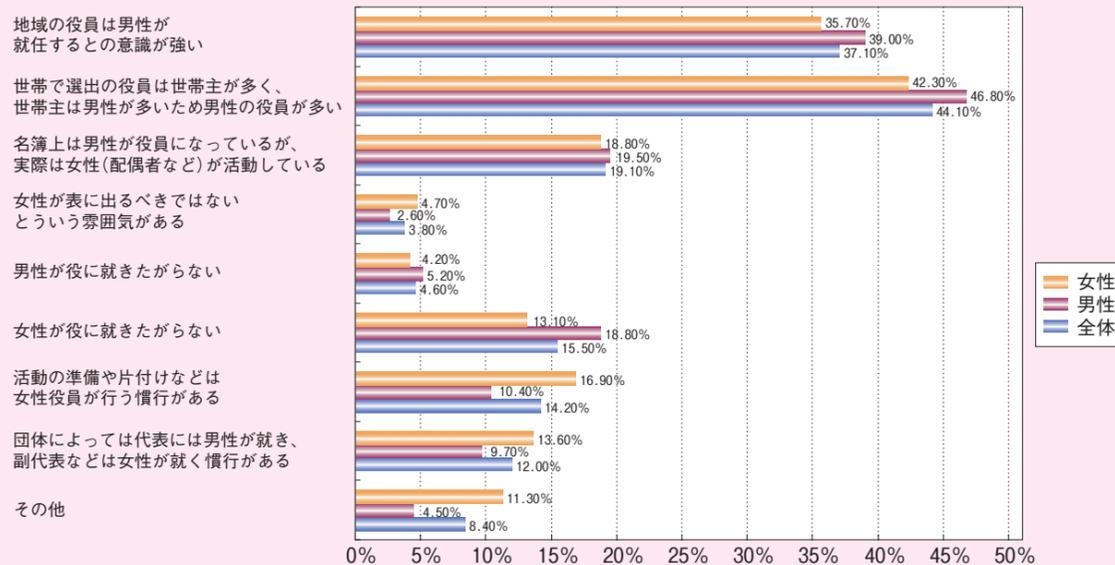


宮崎 小里さん（しおじり女性会議代表、人権擁護委員）

- Q. しおじり女性会議について教えてください。
- A. ^{ひとひと}女と男がかかえる問題について、広く話し合える場がほしいと願う有志によって、平成4年5月9日に立ち上げました。みんなで協力しながら、自力で活動を行っています。
- Q. しおじり女性会議の目的は何ですか。
- A. 男女共同参画の推進が目的です。1人の100歩より100人の1歩という気持ちでやっています。女性に少しでも情報を届けたい、女性の社会進出の手助けをしたいと思っています。また、女性が地域においてもエンパワメント（本来持っている能力を引き出し、社会的な権限を与えること）をアップさせることができるように手助けできたらと思っています。
- Q. 誰でもしおじり女性会議に入ることができますか。
- A. 誰でも入ることができます。男性も入ることができます。
- Q. 今までの活動の成果は。
- A. 情報を発せただけでは、意味がありません。活動のおかげで、知名度があがりました。また、勉強する機会が増えたり、市から各種審議委員等の推薦依頼があった時には、会員を推薦できるようになったので、女性の意見を行政に届けることができるようになりました。
- Q. これからの活動、願いは何ですか。
- A. 今後、発足20周年として何かやりたいと思っています。願いとしては、ネットワークで助けていただいていることが多いので、もっと、ネットワークが広がってくれればいいです。また、栄村の被災者支援のコンサートを計画しています。

平成22年度 塩尻市男女共同参画に関するアンケート調査より、地域活動の現状についての結果です。結果からもわかるように、地域役員については、まだまだ女性の参画が進んでいないことや、男性がやるべきものという意識が根強くあるということがわかります。

地域活動（自治会・公民館・衛生部・PTAなどの活動）の政策・方針決定過程への男女の役員について、あなたの地域の現状はいかがですか



～食生活改善推進協議会（食改）に入会して～ 小野 善教さん（大門）

①食改に入会した動機

男女共同参画はいつの時代も仕事率先する機会があり、「男は仕事、女は家庭」という固定的な考えに縛られてはいませんでした。しかし、塩尻市男女共同参画審議委員をやらせてもらって、ワーク・ライフ・バランス（仕事と家庭の調和）の推進が基本目標のひとつに据えられていることを知り、食に関することにも女性だけでなく、男性も同じ考え方で能力を発揮することが大切と認識して入会しました。

②今の感想

入ってまだ数回ほどの料理講習ですが、手際よくできるように教えてもらっているので、今後は楽しみです。

③今後の目標

食に関することは毎日のことだから女性任せにするのではなく、自分も健康をもたらす栄養について勉強すれば自分のためにもなるので、しっかり学んで身につけ、実践できるようになりたいです。

また、女性ばかりの会に男性が入ることによって、女性とは異なる提案もできるので、改善すべきことは改善できるよう意見を言って、よりよい会に発展していけるように参画していきたいです。

男性の立場からの参画

30年の歴史がある塩尻市食生活改善推進協議会に初めて男性として入会された小野善教さんにお話をお聞きしました。

